緑区町内自治会だより

発　行　緑区町内自治会連絡協議会　　〒266-8733 千葉市緑区おゆみ野 3-15-3
代表者　大　槻　　勝　三　　事務局　千葉市緑区役所地域づくり支援課内
発行日　令和 8 年 3 月 1 日　　℡043-292-8105

【第 16 号】

盛大に開催！『鎌取町夏祭り盆踊り大会』【 平 山 地 区 】

令和 7 年 8 月 3 日（日）に第 43 回鎌取町盆踊り大会が鎌取第 1 公園で開催されました。当初は 8 月 2 日、3 日の 2 日間開催の予定でしたが、前日に千葉県に台風が接近したために 2 日は中止し、台風が通過した後の 3 日のみの開催となりました。1 日間のみの開催でしたが、近隣のたくさんの人が集まって大いに盛り上がりました。

【平山小有志の平山ソーラン踊り】

【緑区副区長挨拶】

【踊りを楽しむ様子】

盆踊り大会の開会式の前には平山小学校 5、6 年生有志による平山ソーラン踊りが披露され、父兄の方もたくさん集まりました。

皆さん、緑区音頭やドラえもん音頭に合わせてやぐらの周りをまわって踊りを楽しんでいました。途中で雨が一時的に降りましたが、皆さん何事もなかったかのように盆踊り大会を楽しんでいました。

【太鼓用舞台】

【大人も子どもも露店に夢中】

やぐらの上の舞台が狭いために、今回は、やぐらの横下に舞台を設けて太鼓はそこで叩き、踊り手も太鼓奏者も気兼ねなく踊り、叩いていました。

また、子どもたちはかたぬき遊びやわたあめ、焼きそば、チョコバナナなどを売っている露店を楽しんでいました。

やぐら組み立てや電気配線、露店の関係は鎌取町内会・鎌取団地自治会の皆さんで協力して設営するなど、町民の手作りで実施しています。

来年も盛大に開催されることを期待しています。

（記事：平山地区連協［第５０地区］　國吉　俊治）

区連協会長挨拶・緑区長挨拶

ご挨拶

緑区町内自治会連絡協議会

会長　大槻　勝三

町内自治会の皆様には、日頃より緑区町内自治会連絡協議会運営に対するご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

緑区連協では、地域の暮らしやすさ向上のため、千葉市及び緑区に対し毎年度要望書を提出しております。今年度は東京方面への通勤利便性の向上のため、JR 外房線の通勤快速の復活及び快速電車の増便や、大雨に伴う村田川氾濫による被害の防止などについて要望を行いました。地域の課題を解決していくため、今後も皆さまの声を行政に届けていきますので、各地区連協あてに積極的にご意見をお寄せください。

町内自治会は地域コミュニティの基礎であり、必要不可欠な存在でございます。皆さまと力を合わせ、安心・安全のまちづくりを推進してまいりますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

緑区長　石井　美代子

町内自治会の皆様には、日頃より市政並びに区政の推進にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。とりわけ地域における防災力の強化や防犯活動の展開、地域コミュニティの維持・発展のためにご尽力をいただいていますことに深く感謝を申し上げます。

本市は今年、「千葉開府 900 年」を迎えました。

平安後期、この一帯を治めていた千葉常重がここ緑区の大椎城から亥鼻に本拠を移したところから、千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。緑区は、その千葉一族とゆかりの深い地域です。こうした生まれ育った地域の歴史に触れていただくとともに、地域で育まれてきた良き伝統が発展的に今の時代に溶け込み継承されていくことを願っています。「田園と調和する広やかで快適なまち」を目指し、区政を進めて参りたいと存じますので、町内自治会の皆さまのご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

防災の取組みと課題【越智地区】

令和元年の台風・大雨は住民の防災意識を高めました。越智地区は住環境が多様で被害内容も様々であり、それぞれ必要な活動を模索しています。

【災害協定】自衛隊を要請するほどの倒木被害があり、停電が 8 日間も続いた大野町内会では、電源確保のため地元の再生可能エネルギー事業者と災害協定を締結しました。

有事の際に避難所となる大野町内会館に対して、事業者は営農型太陽光発電設備で充電した大容量蓄電池、ＥＶ車、バッテリー式照明具・ラジオ付テレビなどを貸し出すものです。ちなみに大野町内会ではこれ以前にも、地元福祉施設と災害時施設開放の協定を結んでいます。

【村田川流域治水】過去に無かった水害土砂災害で深刻な被害を出した村田川流域環境の荒廃は、越智地区連協としても課題にあげてきました。

そんな中、流域で持ち上がった商業用メガソーラー建設計画への対応を考える勉強会で氾濫構造の知見を得たこともあり、河川改修の枠を超えた「流域治水」への転換が必要ではないかとの思いを強くしています。

平成 9 年に改正された河川法は、目的に「河川環境（水質、景観、生態系等）の整備と保全」を加え、河川整備計画に「地域住民の意見の反映」を明記しています。流域全体を自然環境として再認識し、田んぼダムの整備や開発規制等により流域全体の雨水浸透力を高め、河川への雨水一挙流入を防ぐというもので、県内先行事例として、一宮川（流域）があります。

11 月には、河川管理者（県、市）と検討会合を開催しました。

（記事：越智地区連協［第５１地区］　名田　直実）

【災害協定による貸出物品】

誉田町二丁目八幡神社の秋季祭礼【 誉 田 地 区 】

令和７年10月11日（土）、12日（日）に誉田町二丁目八幡神社の秋季祭礼が挙行されました。11日の前夜祭では雨のため、ばか面踊り社中と誉田お囃子保存会の町内巡行は中止となり、来訪を楽しみにしていた老人施設のお年寄りをがっかりさせましたが、急遽第２自治会館内でばか面踊りが披露され、祭礼にお出かけの皆様方の喝采を受けていました。

12日の本祭りでは式典の後、子供神輿、山車、お囃子車の町内渡御が行われました。一般応募の方や近隣のスポーツクラブや子ども会の子どもたち161名が神輿担ぎや山車引きに参加しました。子どもたちの「ワッショイ」の掛け声や、山車に搭載の太鼓の「ドン、ドン」の音、お囃子の「ピーヒャラ」の音が秋空に響き渡りました。両日とも午後には一時行列もできた様々な商品の当たる恒例のくじ引き大会（参加者1047名）、カラオケ大会（参加者81名）、公民館クラブの作品展示会も行われました。露店も出て、近隣の町内からも大勢の参加者で、大人も子どもも楽しい日を過ごしました。

（記事：誉田地区連協［第１２地区］　畑中　恒夫）

【ばか面踊りの披露】

【子供神輿の渡御】

【山車の巡行】

第48回椎名地区体育祭 開催報告【 椎 名 地 区 】

令和７年10月12日（日）、椎名小学校の校庭にて第48回椎名地区体育祭が開催されました。

開催日前日と翌日は雨模様でしたが、幸いにも当日は秋晴れの爽やかな空気に包まれ、地域の皆さんが元気に身体を動かし、体育祭を楽しむことができました。

各種目では、地区を越えて交流を深めながら、闘争心を燃やしつつも、笑顔と声援が飛び交う和やかな雰囲気の中で競技が行われました。中でも一番の盛り上がりを見せたのは「町内対抗リレー」。昨年の優勝チーム「サンサン自治会」に挑むべく各地区の代表選手たちが集結し、白熱したレースの末、今年の優勝は「古市場自治会」が勝ち取りました！

何歳になっても「頑張りたい」「楽しみたい」「勝ちたい」という気持ちを持ち続けることは、生き生きとした人生の証であり、地域の活力そのものです。人との関わりを持ち、健康的に日々を過ごすための一つの機会として、体育祭を毎年の楽しみにしていきたいと思います。

（記事：椎名地区連協［第１４地区］　内海　澄江）

【選手宣誓】

【選手入場】

【総合優勝チーム】

第33回緑区ふるさとまつり【土気地区】

令和7年11月2日（日）、秋晴れの空の下、第33回緑区ふるさとまつりが盛大に開催されました。心地よい陽気に恵まれ、会場には多くの方々が足を運び、地域の絆を感じる一日となりました。

メインステージでは、誉田中学校吹奏楽部の力強い演奏からスタートし、チアリーディングの華やかなパフォーマンスなどさまざまな団体が登場し、会場を大いに盛り上げました。

子どもコーナーでは、けん玉やペットボトルボウリングなど、昔ながらの遊びや工夫を凝らしたゲームが人気を集め、子どもたちの笑顔があふれていました。また、出店やフリーマーケットも大盛況で、フリーマーケットでは掘り出し物を求めて多くの人々が行き交い、にぎわいを見せていました。前日設営と当日には土気高校の他、地元の生徒にボランティアとして協力していただき、運営の大きな助けとなりました。

今回のふるさとまつりを通じて、地域のつながりの大切さを改めて感じることができました。ご来場いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。来年度も笑顔あふれるふるさとまつりが開催されることを願っております。

（記事：土気地区連協［第２３地区］　石川　治史）

【開会宣言】

【ステージパフォーマンス】

【子どもコーナー】

安全で住みやすい街へ！「防犯カメラの役割」【おゆみ野地区】

おゆみ野地区内には本連協が整備し、管理する防犯カメラが6基存在します。6基は主に遊歩道に設置しており、おゆみ野地区の安全意識を高め、犯罪の抑止力に大きく貢献しております。また地区内の小・中学校を含め住民の声や意見も聞きながら防犯カメラの維持・管理に取り組んでいます。本地区は、区役所などの官公庁、大型のショッピングセンターなどがあり、5万人弱の人口を有しております。多くの公園があり、遊歩道も整備されております。遊歩道で発生しやすい、痴漢などの犯罪や自転車や歩行者との接触事故などがありますが、防犯カメラなどを活用することで被害の軽減や安全対策の向上に努めております。今後も連協を中心に警察や学校とも連携していきながら安全で安心な街になるように頑張っていきたいと思います。

（記事：おゆみ野地区連協［第４４地区］　髙橋　大輔）

【おゆみ野には全長9.6キロもある遊歩道が整備されています】

【地区内に設置している防犯カメラ】

編集後記

地域の課題を解決し、明るく楽しく安全で安心して暮らせる街づくりをめざして町内自治会は活動しています。

しかし、少子高齢化は加速し会員数が年々減少し担い手不足は深刻化しています。

このような現状でも、緑区をもっともっと魅力的ですばらしい街になるように頑張っている地域活動をお伝えしたいと委員一同アンテナを張り、足を運びました。

明日への希望と心温まる広報になるように、協議を重ねて防犯・防災・祭り・体育祭を掲載しましたので、ご一読頂ければ幸いです。

広報委員長　小山義春

今年度の広報委員

委員長	小山　義春
１２地区委員	畑中　恒夫
１４地区委員	内海　澄江
２３地区委員	石川　治史
４４地区委員	髙橋　大輔
５０地区委員	國吉　俊治
５１地区委員	名田　直実